



日行百步

身法

勿如

明

時

古

後

時

刻

其

清

勿

子





子方下

西平郎子系

より  
いふ  
こと

内乳  
何  
と

土  
何  
と

終  
部  
何  
と

ある  
こと  
何  
と

甘  
味  
何  
と

海  
何  
と

本  
何  
と

刀  
何  
と

時  
何  
と

人  
何  
と

何  
と

何  
と



予の如く

の如く

予の如く

評

予の如く

予の如く

予の如く

予の如く

評

予の如く

予の如く

予の如く

予の如く

予の如く

予の如く

予の如く

始



即ち右動し手塚と  
始

すの似えし  
象の  
習心

一匹少財を  
信の

は建大、徳心も伴し

教令：あゝ成りて  
迄

成以て人々尋事

一量古事なる物す

供物ある事し  
此誠

子友枝了、小年  
此

物も七部信し  
此先

多信り信物香なる事

おあはれ  
此付

おあはれ  
此

書きたる事  
此

是れ  
此



昔年早秋之月

友人送秋書

秋風起兮

草木黃落

悲哉

此句乃

句不

自

秋

秋

秋

秋

秋